

(別紙)

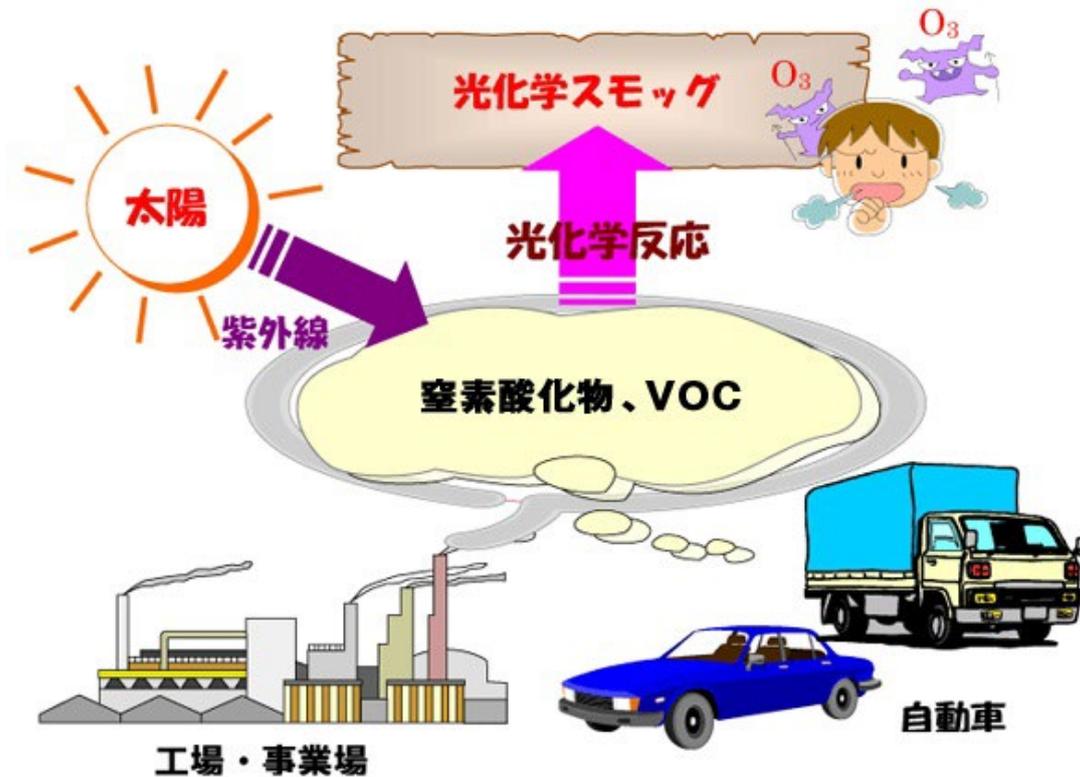
## 光化学オキシダントについて

### 1 光化学スモッグと光化学オキシダント

光化学スモッグとは自動車や工場・事業場などから排出される大気中の窒素酸化物及び揮発性有機化合物（VOC）が太陽光線（紫外線）を受けて、光化学反応により二次的汚染物質を生成することにより発生します。

二次的汚染物質としては、オゾン、パーオキシアシルナイトレート(PAN)及び二酸化窒素等の酸化性物質、ホルムアルデヒド、アクロレイン等の還元性物質がありますが、ほとんどがオゾンです。

光化学反応により生成される酸化性物質のうち、二酸化窒素を除いたものを「光化学オキシダント」と呼んでいます。



### 2 環境基準の達成状況

都内のオキシダント濃度は微減傾向に見られますが、環境基準（1時間値が0.06ppm以下であること。）を全測定局で継続的に達成できておりません。

都は更なる大気環境の改善に向け、2030年度までに各測定局の年平均において0.07ppm以下を安定して達成することを目指す取組を進めています。

図4 光化学スモッグ注意報発令日数と光化学オキシダント最高濃度の推移

